

# 【ねがいましては】

第45号

平成4年5月26日

共和珠算塾 新浜

「ボーっとする時間」

テレビのCMで、忙しいという字は「心をなくすと書きます・・・」というのがあります。なるほどとうなずくCMです。自分自身にあてはめてみても、忙しい時があまりにも多すぎるといつも感じています。少し前の子ども時代は、学校では教室の仲間、放課後は近所の仲間、夜は家族というような人間関係を学ぶ場所がありました。今は少し変わってきているようです。

何か時間に追われている子が増えているように思えます。

私事で恐縮ですが、母の郷里が岐阜県の山奥なのです。私の少年期は毎年夏休みになると、40日間ほとんどそこで過ごしました。東京のコンクリートの世界とは180度違う世界です。夜8時にもなれば家じゅうの人が寝てしまう。朝6時頃、みそ汁の臭いで目が覚め、外は川の流れの音、日中はセミの声、カエルの声、目・耳・鼻・五感すべてを使って大自然を感じる生活でした。

小学生のころ、毎年そこへ行くたびになぜか体重も増え、身長も伸びました。そして田舎のおじいちゃんやおばあちゃん、おじさん、おばさんたちのおおらかな、おっとりとした心に触れ、40日後の私は、なんとものんびり屋さんで帰ってきました。

その頃のところが懐かしくて、また味わいたいと思うのです。

夕方、太陽が山の向こうに沈むのを川原にこしかけて、じーっと眺めている時、確かに地球は回っているなど実感します。

夜、うちわを持ってホタル狩りをするときの、あの何とも神秘的な光のドラマは芸術的です。

今年も夏、キャンプを行うわけですが、毎年、私のそんな思い出が重なっています。

みんなにボーッとしてもらうために。

ただ 相田 みつを  
花には 人間のような かけひきがないからいい  
たださいて ただ散ってゆくからいい  
ただになれない 人間のわたし

(一生感動 一生青春) 文化出版局 より

6月の予定

2日(火) 試験の後のゲームの日

9日(火) 検定試験合格者発表